

# 「片付け」

育ちの森 子ども支援室「ぬっく」

2020年度が始まり、お子さんは希望をもち新たな一歩を踏み出そうと頑張っている一方で、新しい環境や様々な出来事が起こる生活に、不安やとまどいを感じているかもしれませんね。ご家族の方も、様々な思いを抱えるお子さんを見守り支える中で、お子さんの成長を頼もしく感じることもあると思います。反面、思い通りにならず、子育てを難しく感じることもあるかもしれません。

そこで「ぬっく」では、相談のあった子育ての悩みや困りごとなどの中からテーマを決め、少しでも子育てのヒントになるようにお知らせしていきたいと思います。今回は、お子さんの「片付けられない！」をテーマにして、どうしたらお子さんが片付ける意欲をもてるようになるかについて考えました。

## 片付けられない

こんなことに困っていませんか？

出しっぱなし  
注意しても片付けない  
声をかけると反発する  
すぐに片付けをやめて遊び出す



本の紹介

- 1) 「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」  
本田秀夫・日戸由刈（監修）. 講談社. 2017.
- 2) 「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 幼児・小学生編」  
本田秀夫・日戸由刈（監修）. 講談社. 2018
- 3) 「特別支援教育をすすめる本② こんなとき、どうする？ 発達障害のある子への支援【小学校】」  
内山登紀夫（監修）, 安倍陽子・諏訪利明（編）. ミネルヴァ書房. 2009.

お子さんは「片付けない」のではなく「片付け方がわからない」のかもしれませんが。

お子さんの年齢や性格によってもサポートのしかたは様々ですが、自分から片付けしようという気持ちにさせるためには、お子さんが「自分で片付けができた！」という自信をもつことが大切です。また、どうやって片付けたらよいかもわかることも必要です。

次ページで、お子さんの片付けをサポートするポイントを紹介しています。

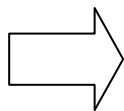
これらの本を参考に、次ページで片付けのヒントをご紹介します。本は「ぬっく」の待合室にも置いてありますので、ぜひ待ち時間等に手にとってみてください。

# 子どもの片付けをサポートするポイント

## 1. やりきる経験を!

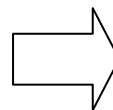
### 片付けは最初に手伝う

何度か注意するくらいでは、片付けが苦手な子は動かない。「片付けよう」と声をかけたら、親が率先してものを整理し始めて、手伝うとよい



### 途中からいっしょに

親が片付けはじめると、子どもも気づいて多少はやる気になる。子どもが動きはじめたら、途中からはいっしょに片付ける



### 最後は子どもが仕上げる

片付けが終盤まできたら、親は手を止め、最後のひとは子どもに片付けてもらう。やりきったという爽快感を大切に

「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」 本田秀夫・日戸由刈（監修） 講談社

## 2. 持ち物の置き場所を決める!

### まずはおもちゃの片付けから

片付ける意欲をもてるように簡単な方法にして、最初は「おもちゃを箱に片付ける」くらいの簡単な整理でOK。

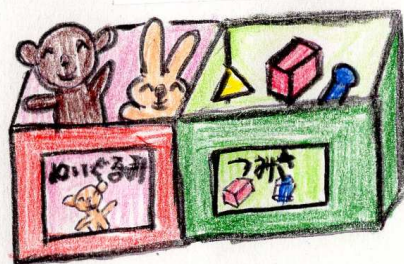
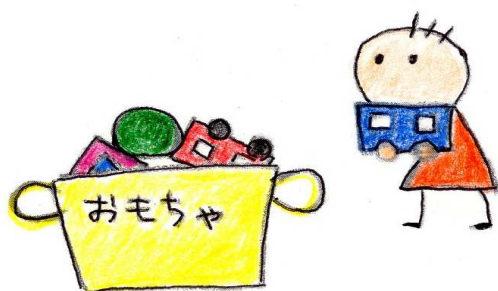
参考:「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 幼児・小学生編」 本田秀夫・日戸由刈(監修) 講談社

### 片付ける場所がひと目でわかる

視覚的にわかりやすくするとよい。

- ・子どもと相談して置き場所を決める。
- ・箱にラストシールを貼ったり、色分けしたりする。
- ・片付いた状態の写真を見本にする。

参考:「特別支援教育をすすめる本② こんなとき、どうする? 発達障害のある子への支援 [小学校]」 内山登紀夫(監修) 安倍陽子・諏訪利明(編) ミネルヴァ書房



片付けできたよ

片付け方について、いくつか紹介しました。ご家庭でも、できそうなことがあれば是非試してみてください。片付けに限らず、お子さんが何かを身につけるためには、繰り返しが大切です。何度も繰り返しやっていく中で、少しずつやり方がわかり、できたことが自信につながっていきます。自分でやってみようという気持ちが育つように、焦らずに手伝ったり見守ったりしていきましょう。

